

■タバコを吸うと子供が虫歯に？■

家族に喫煙者がいる子供は、そうでない場合に比べて3歳までに虫歯になる可能性が2倍になった、という京都大学の研究報告が発表されました。家族に喫煙者がいる場合、そうでない場合に比べて1.46倍、目の前で吸われる場合には2.14倍にもなったそうです。この研究結果から、受動喫煙することで唾液の成分が変化し、それが虫歯をできやすくするのではないかと考えられています。受動喫煙が口の中に影響を与えるほかの例としては、歯茎の着色が挙げられます。家族に喫煙者がいると、子供の歯茎にメラニン色素が沈着し、黒くなってしまいます。その他にも有害物質を含んだ煙を吸うことで影響が出ている可能性はあるのではないのでしょうか

タバコを吸うことでおこる口の中への影響は、普段なかなか自分で感じ取ることにはできません。気づきやすいとしたら、タバコのヤニによる歯への着色くらいでしょう。しかしタバコの有害物質は少しずつ口の中の状態を破壊し続けています。歯茎の黒ずみはニコチンが歯茎の毛細血管の血流障害をひき起こすために発生し、喫煙による歯茎のメラニン色素沈着で黒ずんだ歯茎がいつそう進行します。禁煙をすることで、お口の中の病気のリスクを大幅に下げることができるだけでなく、味覚も正常になって食事美味しく感じられることでしょう。また、身近な人の健康も守ることができます。ゼ口に出来ないまでも、徐々に減らしていくようにしたり、禁煙を実行するのがひとりでは難しいと思う場合なら、禁煙外来などに相談してみるのもいいかもしれません。

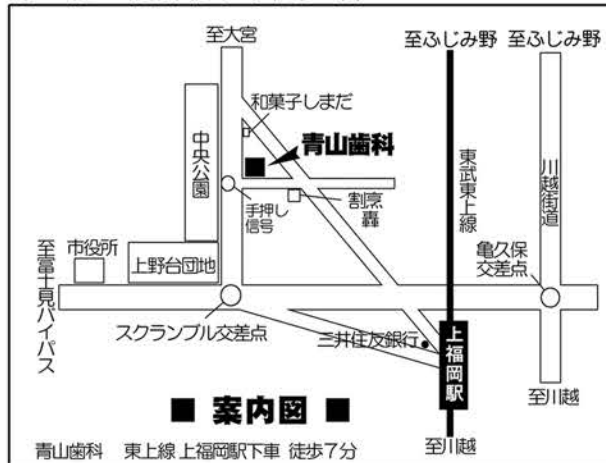
★ほかにもまだある悪影響★

1. 歯周病を発症・進行させる…タバコを吸うと、ニコチンや一酸化炭素の影響により、血行不良、免疫力低下が起こり、歯周病を発症・進行させやすくなります。

- また、歯茎を硬くして出血もしにくくなるため、歯周病特有の症状を隠してしまい、気づいた時には手遅れになっているということも多く、さらに傷の治りが悪くなるので歯周病の治療をしても効果が現れにくくなります。
2. 歯が汚くなる…ヤニが歯にこびり付くと、なかなか取れず歯が汚く見えてしまいます。また、こびりついたヤニ(タール)は有害物質を周囲に放出し続けます。
3. 口臭がひどくなる…タバコの独特の臭いに歯周病が加わると、ひどい悪臭を周囲に撒き散らすこととなります。
4. 歯茎が黒くなる…タバコによりビタミンCが破壊され、歯茎にメラニン色素が沈着してどす黒くなっていきます。
5. 粘膜の病気や口腔ガンを起こす…口の中の至る部分の粘膜に有害物質が作用し、粘膜の病気やガンを引き起こします。
6. 味覚異常を起こす…唾液の減少により舌の表面に舌苔(ぜったい)が付着しやすくなり、味がわかりづらくなります。

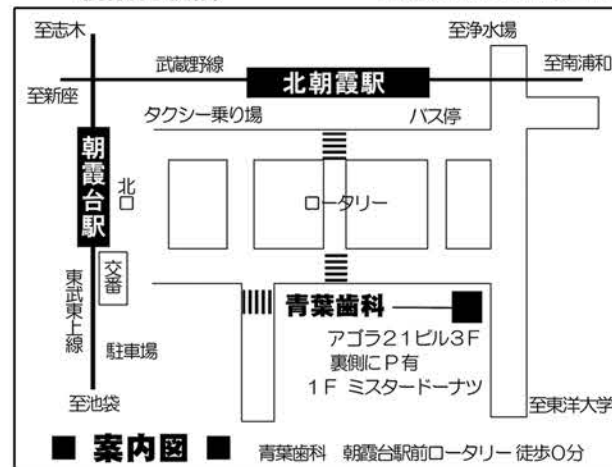
青山歯科医院

埼玉県ふじみ野市福岡中央 1-2-8
東上線 上福岡駅下車徒歩7分 Tel 049-262-1068



青葉歯科医院

埼玉県朝霞市浜崎 1-2-10 アゴラ 21ビル 3F
朝霞台駅前 Tel 048-474-8246



❁お子さんの虫歯ゼロを目指して!!❁
キッズクラブ【GOOD SMILE CLUB】始めました
スタッフまでお気軽にご相談ください